富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和5年12月号
No.258

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

師走の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今月の掲載は、外科、救急科、
腎代替療法選択外来・腎移植外来です。

YouTubeで当院の「今」をお伝えしています。
是非ご覧ください。

診療科の紹介　外科

（午前）	月	火	水	木	金
1診	天谷	加治	天谷	羽田	加治
2診	倉田	羽田	柄田	廣瀬	柄田
3診	中村	廣瀬	中村	倉田	中村
5診	吉川		吉川		吉川

上部
下部
肝胆膵
乳腺

◆診療体制

上部消化管（食道・胃）は加治医師、柄田医師、下部消化管（大腸）は羽田医師、廣瀬医師、肝胆膵は天谷医師が中心となり、年間約1,200件の全身麻酔手術を施行しております。また本年からは乳腺外科を標榜し、より受診しやすくなりました。乳腺外科は吉川医師、中村医師が担当しております。外科総員14名で、がん診療を中心に、ヘルニアなどの良性疾患や胆嚢炎、腸閉塞などの腹部救急疾患にも対応しております。

消化器外科手術の領域では、腹腔鏡手術が主流となりつつあり、当院においても上部消化管50%、下部消化管80%、肝膵30%が腹腔鏡手術です。

腹腔鏡手術では、術者が見ている術野と同じ視野がモニターに映し出されるため、助手だけでなく麻酔科、看護師、研修医と術野の展開、手術進行といった情報の共有が可能です。もちろん、富山大学や金沢大学から見学に来る学生も同じ

画面を見ることが可能で、その没入感に浸ることができます。

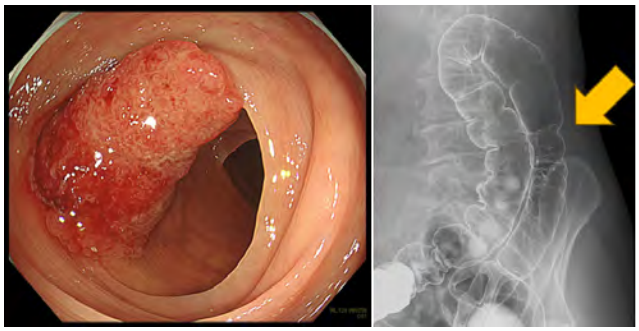
研修医、外科修練医には模擬臓器を用いて腹腔鏡手術での鉗子、エネルギーデバイスの操作を体験してもらい、実習後には手術に積極的に参加してもらいます。知識と技術を磨き、手術の難易度に合わせ、執刀する機会も少なくありません。腹腔鏡手術は次世代の外科医の教育につながると考えています。

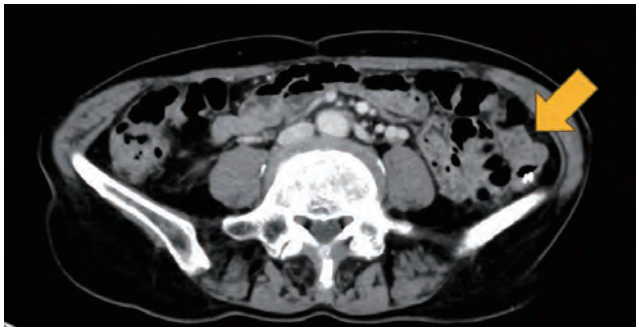
◆ロボット支援下手術

当科では2018年に手術用ロボット（da Vinci Xi サージカルシステム）を導入しました。ロボット手術は３Dで手振れのない安定した視野が特徴で、食道癌、胃癌、直腸癌、膵癌における手術件数は年々増えており、直腸癌手術においては2022年8月に100件を超えました。さらに、2023年4月からは、新たに保険収載されたロボット結腸悪性腫瘍切除を開始しました。

症例提示：

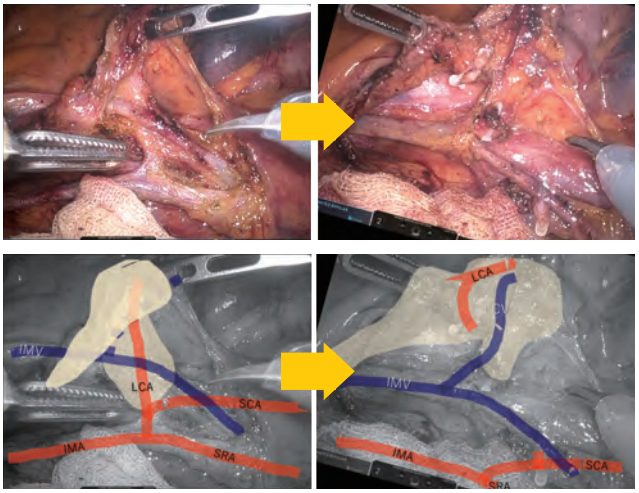
60歳代女性。便潜血陽性の精査・加療目的に紹介受診されました。精査にて下行結腸癌（cT2N0M0 Stage Ⅰ）と診断され、ロボット支援下結腸切除術を施行しました。





手術では、IMAおよびIMVを温存しつつ、IMA根部のリンパ節＃253を郭清しました。

左結腸動脈分岐部周囲はS状結腸動脈の分岐やIMVに流入する静脈の角度が様々です。腹腔鏡では鉗子の向きに制限があるため血管処理に苦労することが多いのですが、ロボットではそれぞれの血管の角度に応じてクリップを留置することができます。



術後経過は良好で、術後８病日に退院されました。

ロボット手術では、腹腔鏡手術に比べてやや手術時間の延長がみられます。そのため、現在は1日1件の手術にとどまっており、ロボット手術の是非が問われています。20年前に腹腔鏡下結腸・直腸切除術が保険収載されたとき、同じように手術時間と技術的難易度、そして治療効果について問題はないのかと話題になりました。

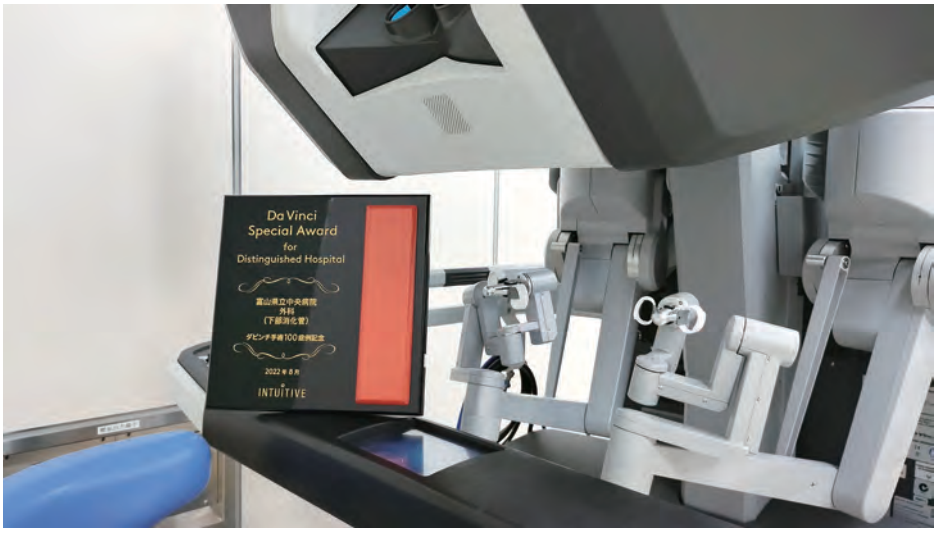
しかし、手術時間は術者の習熟度が増すにつれて短くなる傾向にあり、現在ではNCD（National Clinical Database：日本全国の外科(系)手術・治療情報）から腹腔鏡手術の有用性が証明されています。

さらに海外からは手術時間の短縮が得られなくとも、ロボット手術のほうが予後良好との報告も増えています。

また、これまではコンソール術者となるうえで消化器外科専門医かつ日本内視鏡外科学会技術認定取得者という高いハードルが設定されていましたが、近年、この条件が緩和されました。これにより若手外科医に対しても門戸が広く開かれたことになります。

当科では結腸・直腸癌のロボット手術に対して、病期による適応制限は特に設けていません。そのため、すべての大腸癌の患者さんにロボット手術が可能です。現在、月に約20件弱の大腸癌手術を行っていますが、そのうちロボット手術は直腸を含め3-4件にとどまっています。今後は当院に配置されている1台の手術用ロボットをより効率的に運用し、「ロボット手術を受けたい」という患者さんの声と、「ロボット手術を実践したい」という若手外科医の声にも応えていきたいと思います。

（文責：羽田匡宏）



救急科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

当院救命救急センターは、富山県の救急医療の最後の砦として、病院全体が一丸となって365日、24時間診療体制を整えています。救急科医師は、救命救急センターの舵取り役として、軽症から重症まで、どのような症状にでも迅速に対応し、各専門医と協力して救急受診患者さんの命を守り、苦痛を和らげることができるよう努めています。救急科では病気から怪我まですべての疾患に対応すると共に、重篤な症状に対しての救命処置や集中治療管理も専門的に担当します。また、ドクターヘリを利用して、病院到着前の救急現場から救命医療を展開しています。今年から救命救急センター長として日本救急医学会指導医である若杉雅浩が着任し、病院前から入院管理まで一貫した救命医療が提供できる体制のより一層の充実を図っています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長
若杉（わかすぎ）　雅浩（まさひろ）

【（患者さんに向けた）一言】
・あなたの命、護ります。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・救急集中治療
【専門医資格】
救急科専門医、集中治療専門医、麻酔科専門医

部長
松井（まつい）　恒太郎（こうたろう）

【（患者さんに向けた）一言】
・緊急度に応じての診療にご協力お願いします。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・救急集中治療、熱傷
【専門医資格】
救急科専門医、熱傷専門医

部長
中山（なかやま）　祐子（ゆうこ）

【（患者さんに向けた）一言】
・地域に根ざした医療を目指します。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・小児救急、集中治療
【専門医資格】
集中治療専門医、小児科専門医

医長
大鋸（おおが）　立邦（たつくに）

【（患者さんに向けた）一言】
・やさしい医療を提供します。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・救急診療一般
【専門医資格】
救急科専門医

医長
坂田（さかた）　行巨（ひでなお）

【（患者さんに向けた）一言】
・患者さんに寄り添った診療を心がけます。
【自身の専門性（手技他）アピール】
・救急診療一般
【専門医資格】
救急科専門医

スムーズな連携のため、当院へご紹介いただく際には事前にご一報お願いいたします
代表 076（424）1531
救急車搬送の場合は救命救急センターへ、それ以外は地域連携室へ繋ぐようお伝えください

腎代替療法選択外来・腎移植外来のご紹介

日本の成人8人に1人が慢性腎臓病（CKD）と言われており、人口の高齢化に伴い今後さらに増加することが予想されます。腎臓病は自覚症状がなく進行し、末期腎不全に至った場合には腎代替療法が必要になります。腎代替療法は血液透析、腹膜透析、腎移植があり、患者さん個々の病状や生活環境などを踏まえて、最適な療法を選択することが重要です。重篤な併存疾患等により人生の最終段階にある患者さんには、腎代替療法を行わずに緩和ケアを重視した保存的腎臓療法が考慮される場合もあります。

当院の腎代替療法選択外来は、CKDステージ4以上（eGFR 30 mL/min/1.73m2未満）の患者さんに対し、腎代替療法の情報提供だけでなく、CKD保存期の管理を含めた生活指導も行っています。保存期の生活習慣の管理により、腎代替療法の導入を遅らせることが可能になることや、導入後の生活習慣にも良い効果が得られると考えています。また、将来的な治療の見通しを知ることで、患者さん自身が透析導入を受け入れる準備ができます。

そのため、開業医の先生方に診ていただいているCKD患者さんは、ステージ4の段階で一度当院腎臓高血圧内科に紹介していただきたいと考えています。腎臓高血圧内科の外来から腎代替療法選択外来へとつないでおり、認定レシピエント移植コーディネーター・腎代替療法専門指導士・腎不全看護特定認定看護師が対応しています。有意義な人生を送ることを目指し、保存期のうちに腎代替療法それぞれの特徴を患者さんに知ってもらい、ライフスタイルや生活環境に合わせた治療法を患者さん自身で選択することができるよう支援しています。

また、腎移植外来では、腎移植を希望されている患者さん・ご家族には、腎移植についての情報提供や意思決定支援を行っています。腎移植を受けた患者さんには、内服や生活状況の確認を行い、生活習慣の指導、不安の相談など、ご家族を含めたサポートを行っています。

献腎移植登録を希望される場合は泌尿器科に紹介をお願いします。その際に必要な検査データなどの詳細は、当院ホームページ泌尿器科の診療案内『お知らせ』欄に記載していますので、ご参照下さい。献腎移植登録や更新についても、腎移植外来がサポートしています。

対象	・腎代替療法について説明・相談を受ける患者とその家族（1人2回まで） ・腎移植患者とその家族、腎移植を希望されている方とその家族
診察日	腎代替療法選択外来・腎移植外来：月～金曜日 10：00～12：00　13：30～14：30
予約	予約制：腎代替療法選択外来：1時間程度、腎移植外来：1人15～30分
場所	1階　腎臓病相談室
担当	認定レシピエント移植コーディネーター　渡邊・池田 腎代替療法専門指導士　池田 腎不全看護特定認定看護師　高尾

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

1月開催予定

★第175回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年1月4日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年1月11日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年1月15日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和6年1月18日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年1月9、16、23、30日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

2月開催予定

★第176回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和6年2月1日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和6年2月8日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和6年2月19日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

★富山県立中央病院がんセンター部キャンサーボード
日 時：令和6年2月26日（月）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和6年2月6、13、20、27日（火）16時30分から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B1階会議室

2 1月の外来診療に関する医師不在日

科　名	医師名	不在日
循環器内科	臼田(和)医師	23日(火)、25日(木)
消化器内科	松田(耕)医師	25日(木)
精　神　科	野原医師	17日(水)午後
呼吸器外科	川向医師	5日(金)、9日(火)

3 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰り頂く場合があります。ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前にFAXいただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

今年の師走も駆け足で過ぎ去ろうとしています。
関係機関の皆様には、連携において大変お世話になり感謝申し上げます。
来年の干支は辰（甲辰：きのえたつ）です。辰年は陽の気が動き活力旺盛になり、大きく成長する年だと言われています。目標に向かって努力し、夢が叶う年にしたいと思います。
来年も患者さん・ご家族、地域のために、地域連携室スタッフ一同、力を合わせて元気に頑張りますので、どうぞ、よろしくお願い致します。よいお年をお迎えください。

地域連携室 森川朋子

当院９階より撮影「剣岳」　撮影：地域連携室看護師 吉田 弘子

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp